

2021年6月4日
損害保険ジャパン株式会社

アルピコホールディングスとのSDGsに関する包括連携協定の締結について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長 西澤 啓二、以下「損保ジャパン」）とアルピコホールディングス株式会社（代表取締役社長 曲淵 文昭、以下「アルピコホールディングス」）は社会的課題を解決し、地域社会の活性化に貢献することを目的に、『SDGsに関する包括連携協定』を6月4日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

アルピコグループの経営理念は信州に暮らす人々とその素晴らしい自然環境を愛し、「安心・安全」「便利」「快適」「楽しさ・ときめき」「知識」の提供を通じて豊かな地域社会の実現に貢献することです。その経営理念はSDGsの達成すべきゴールである気候変動への対応や住み続けられるまちづくりの延長線にあるものとの位置づけから、持続可能な開発目標（SDGs）に積極的に取り組んでいます。損保ジャパンは、リスクテイクーとして、保険商品、防災、減災に資するサービスの提供やグループのリソースを活用し、協働して地域経済の活性化やよりよい社会づくりに貢献するため、今般包括連携協定を締結するに至ったものです。

2. 協定の目的

本協定は損害保険ジャパンとアルピコホールディングスとが緊密な連携の下、地域経済の活性化と地域社会の安定的な繁栄を図る事を目的としています。

3. 協定の主な内容

以下の4項目において業務連携を行います。

- (1) 地球環境問題への対応
- (2) 地域・経済の活性化
- (3) より良いコミュニティー・社会づくり
- (4) 防災・減災への取組

4. 今後について

損保ジャパンは、今後もパートナーシップによるSDGsの取組みによって、様々な社会的課題の解決に取り組み、地域社会の活性化に貢献していきます。

以上